

きてみてなへす みてなへす

市立福知山市民病院

所在地
620-8505
京都府福知山市厚中町231番地
TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181
ホームページ
<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

第57号 発行日:令和8年1月22日

～一度私たちの病院に来てみませんか?～

市立福知山市民病院 大忘年会

福知山市民病院では、毎年12月に大忘年会を開催しています。各病棟のスタッフや先生方と一緒に出し物をしたり、おいしいご飯を食べたり、ビンゴゲームをしたりと楽しい時間を過ごしました。普段は関わりの少ないスタッフともコミュニケーションを取ることができ、有意義な会となりました。

大忘年会で日頃の疲れを癒すことができたので、新たな気持ちで今年も頑張ります!

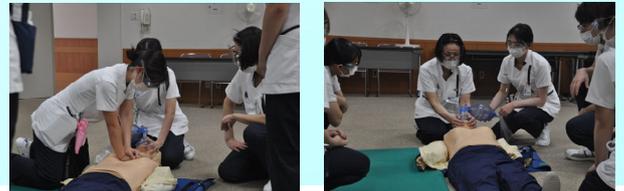


2年目救急看護研修

昨年の11月に救急看護研修があり、講義の受講とモデルを用いた実践を行いました。

講義では、急変の前兆に気づくことができるよう、フィジカルアセスメントについてや、実際に急変が起こった時のアゴリズム、そしてその際のご家族の心理状況に対する支援について学びました。実践では、質の高い1次救命処置(CPR)が行えるよう訓練し、2次救命処置である気管挿管の介助の練習も行いました。

限られた時間でしたが、たくさんの方の知識や学びを得る機会となりました。



～研修後の感想～

- ・それぞれその場での役割分担が大切だと思った。
- ・急変があった際に落ち着いた行動がとれるか不安はあるが、今回の研修を通して今の自分にはその場で何が出来るか考えながら行動したいと思った。
- ・普段触れることの少ない器械や物品が多く、急変対応の機会も少ないため、いざとなったときに少しでも迷わず対応できるよう復習しておくことが大事だと思った。

市立福知山市民病院に就職して良かったと感じること

- ・学校行事や保育園行事に参加できるなど、子どもに関しての周囲の理解があることがとても有り難い。
- ・日々の業務の中で、未経験のことや不安がある部分に対して先輩方がフォローして下さるので、安心した環境で学びを得ることができる。
- ・急性期病院での業務の流れを知ることができる。
- ・様々な疾患の患者さんが療養されているため、患者さんが受けられている治療や検査について多くのことを学ぶことができる。
- ・話しやすく頼りやすい人間関係であること、OJTなど教育体制が整っていること。
- ・先輩が優しく丁寧に指導してくれるので、安心して手術助入ることができる。
- ・新人一人一人に合わせた指導用紙をコーチの先輩が作製してくださり、半年間での苦手なことや課題を明確にすることができる。

新人さんの声



苦手だったが上達したこと

- ・患者さんのバイタルサインや様子から状態の変化に気づけるようになった。
- ・包帯を回収したあと、巻き直すのが早くなった。
- ・優先順位を考えながら一日の計画を立てること。
- ・ルート確保に苦手意識があったが、回数を重ねていくにつれてできるようになった。
- ・他職種のスタッフへの報告や連絡の方法が上手くできなかったが、SBARを使用するようになってから上達した。
- ・苦手だった手術が、今では落ち着いて器械出しができるようになった。
- ・患者さんへの声かけのタイミングや言葉遣いに迷うことがあったが、日々の関わりを通してその方に合わせたコミュニケーションがとれるようになった。
- ・夜勤など大人数を担当する場面でも時間内に回りきれるようになった。

2年目へ向けての抱負

- ・今は目の前のことに精一杯なところがあるので、患者さん中心の先を見据えた看護ができるよう取り組んでいきたい。
- ・1年目では多くの課題があり、1つ1つに時間をかけて取り組むことがなかなかできなかったため、2年目は学習も含めて丁寧に取り組んでいきたい。
- ・積極的に研修に参加していきたい。
- ・更に向上心を持って専門性の高い知識を身につけたり、安全安楽な看護を考え、今よりレベルの高い看護が提供できるようにしたい。
- ・忙しい場面でも周囲の状況に目を向け、チーム全体の動きを意識しながら行動できるよう努めたい。
- ・記録が後回しになることが多いので、隙間時間や業務の合間を意識的に活用し、次の勤務者にスムーズにケアを繋げたい。

